

QDF エディタ

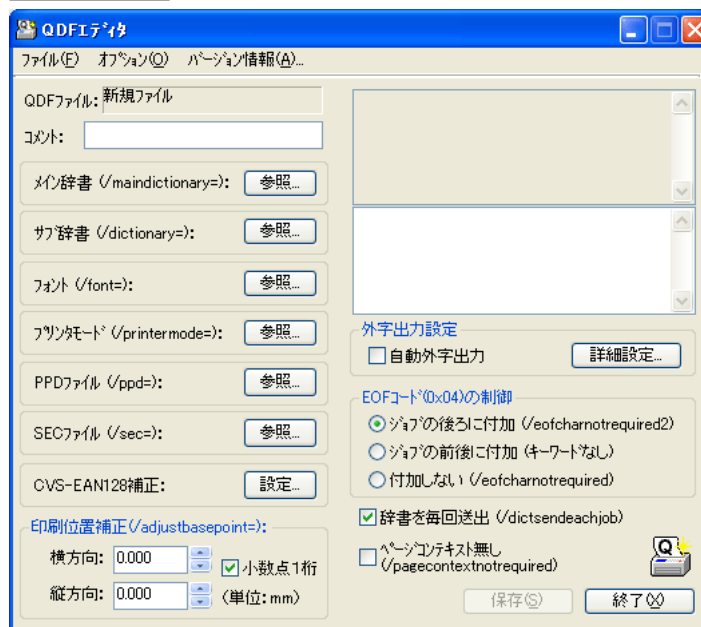
1. QDF エディタ	2
2. 制限事項	7

1. QDF エディタ

QDF エディタでは、QDF ファイル（辞書定義ファイル）と呼ばれる印刷条件を設定するファイルを扱います。

この QDF ファイルは、多様な印刷環境や異なる出力先の条件に対応するためのファイルで、Create!Form 導入ディレクトリ直下にあります。また、標準の QDF ファイルのほかに、ある特定の印刷条件を満たすための QDF ファイルが Create!Form 導入ディレクトリ直下の [setup] ディレクトリに用意されています。ランタイム印刷実行時に特に QDF ファイルの指定がない場合は、標準の QDF ファイル (default.qdf) が使用されますが、任意で作成した QDF ファイルを指定して印刷を行うこともできます。通常は標準の QDF ファイルの使用で問題ありませんが、外字やバーコードを使用している帳票では、専用の QDF ファイルを作成して使用することで、より最適な印刷出力結果を得ることができます。

図：QDF エディタ



ツールメニュー

[ファイル]-[新規作成]

QDF ファイルを新規作成します。

[ファイル]-[開く]

既存の QDF ファイルを開きます。

[ファイル]-[上書き保存]

編集中の QDF ファイルの内容を保存します。

既に存在するファイル名で保存する場合、上書きの確認のメッセージが表示されます。

[ファイル]-[名前を付けて保存]

編集中の QDF ファイルの内容を名前を付けて保存します。

[ファイル]-[終了]

QDF エディタを終了します。

[オプション]-[参照]

既存の QDF ファイルを開き、コマンドオプションを直接編集します。

[バージョン情報]

QDF エディタのバージョン情報を表示します。

メイン画面

[QDF ファイル]

現在編集中の QDF ファイル名が表示されます。

QDF ファイルを新規作成している場合は、「新規ファイル」と表示されます。

[コメント]

QDF ファイルに対して任意でコメントを記述します。

[メイン辞書]

印刷時に生成される PS データが使用するマクロ命令などを記述したメイン辞書を設定します。

[メイン辞書]-[参照] ボタン

Create!Form 導入ディレクトリ直下の [dict] ディレクトリにある拡張子が [.mdc] のファイルを指定します。

標準の QDF ファイルでは [stdscm.mdc] が指定されています。

<< 注意 >>

不適切なメイン辞書を指定した場合は、印刷結果に問題が発生する可能性があります。通常は標準の設定を使用します。

[サブ辞書]

メイン辞書の追加補足辞書を設定します。

※サブ辞書の中には同時に使用できないファイルが存在します。詳細については後述の制限事項をご覧ください。

[サブ辞書]-[参照] ボタン

Create!Form 導入ディレクトリ直下の [dict] ディレクトリにある拡張子が [.dct] のファイルを指定します。

サブ辞書は複数指定することができます。

[フォント]

フォント設定ファイルを指定します。

※フォント設定ファイルの中には同時に使用できないファイルが存在します。詳細については後述の制限事項をご覧ください。

[フォント]-[参照] ボタン

Create!Form 導入ディレクトリ直下の [font] ディレクトリにある拡張子が [.fnt] のファイルを指定します。

フォント設定ファイルは複数指定することができます。

[プリンタモード]

プリンタモードファイルを指定します。

[プリンタモード]-[参照] ボタン

Create!Form 導入ディレクトリ直下の [pmode] ディレクトリにある拡張子が [.pmd] のファイルを指定します。

プリンタモードファイルは複数指定することができます。

標準の QDF ファイルでは未指定となっています。

[PPD ファイル]

対象となる PostScript プリンタの PPD ファイルを設定します。

PostScript プリンタにおいては、プリンタデバイスに依存する部分を吸収するために、PPD(Postscript Printer Description) ファイルがプリンタごとに提供されています。

Create!Form ではいくつかの PPD ファイルを用意しておりますが、利用可能な PPD ファイルが見当たらない場合は、各プリンタに付属している PPD ファイルをご利用ください。

[PPD ファイル]-[参照] ボタン

Create!Form 導入ディレクトリ直下の [ppd] ディレクトリにある拡張子が [.ppd] のファイルを指定します。

[SEC ファイル]

FormCast ランタイム、FormCollect ランタイムでの PDF セキュリティ情報を QDF ファイルから設定する場合は、SEC ファイルを指定します。

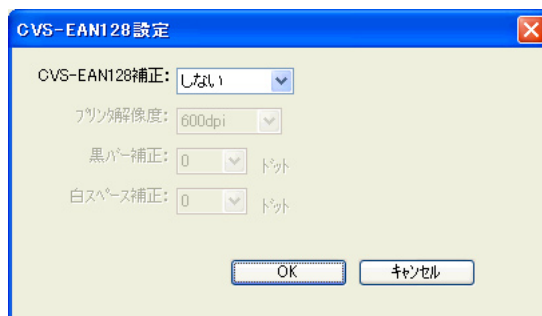
[SEC ファイル]-[参照] ボタン

Create!Form 導入ディレクトリ直下の [sec] ディレクトリにある拡張子が [.sec] のファイルを指定します。

[CVS-EAN128 補正]

EAN128 コンビニバーコードの補正を行う場合に設定します。

図 : CSV-EAN128 設定画面



[CVS-EAN128 補正]-[設定] ボタン

CVS-EAN128 設定画面を表示します。

EAN128 コンビニバーコードの詳細設定をこの画面から行います。

[印刷位置補正]

印刷位置の補正値を指定します。

[外字出力設定]

出力帳票で外字を出力する場合は設定を有効にする必要があります。

[外字出力設定]-[詳細設定] ボタン

図：詳細設定画面



[外字出力設定]-[詳細設定]-[外字フォント設定]

外字出力に使用する外字フォントファイル (. tte) を指定します。

[外字出力設定]-[詳細設定]-[書体]

外字出力に使用する外字フォントの書体を指定します。

[EOF コード (0x04) の制御]

EOF コードは通常 16 進コードで 04 です。EOF コードは PS プリンタに対してジョブのクリアを行います。

プリンタは EOF コードによって今まで行っていた処理を完全に終了し、処理前の状態に戻します。例えば何らかの異常データがプリンタに残っていても、印刷データに先立って EOF コードを送出しておけば異常データはクリアされ、印刷データを確実に処理することができます。

ジョブの後ろに付加 (/eofcharnotrequired2)

QDF ファイルへ [/eofcharnotrequired2] が記述され、印刷ジョブの最後に EOF コード付加されます。通常はこの設定を使用します。

ジョブの前後に付加(キーワードなし)

QDF ファイルへは何も記述しません。この場合、EOF コードが印刷ジョブの前後に付加されます。

付加しない (/eofcharnotrequired)

QDF ファイルへ [/eofcharnotrequired] が記述され、EOF コードは付加されません。

[辞書を毎回送出 (/dictsendeachjob)]

設定が有効な場合は、QDF ファイルへ [/dictsendeachjob] が付加され、辞書を毎回送出します。
通常はこの設定を使用します。

[ページコンテキスト無し (/pagecontextnotrequired)]

通常はページ毎にコンテキスト管理 (save-restore) を行う出力データが作成されます。
設定が有効な場合は、このコンテキスト管理を行わない出力データが作成されます。
ページ毎にコンテキスト管理を行わない方法は特殊な場合となりますので、通常はこの設定は使用しません。

[保存] ボタン

編集中の QDF ファイルの内容を保存します。既に存在するファイル名で保存した場合は、上書き確認メッセージが表示されます。

[終了] ボタン

QDF エディタを終了します。

2. 制限事項

同時に使用できない辞書ファイルについて

以下の各用途ごとの辞書ファイルは同時に使用することができません。
同時に使用した場合は、最後に設定した辞書ファイルのみが有効となります。

■サブ辞書

* バーコードに関する辞書

code39/code39a

code39_a/code39t

code128b/code128c

ean128b/ean128c

uccean128b/uccean128c

* JAN コードに関する辞書

jisucc/jisucct

jissucc/jissucct

* 印刷ページに関する辞書

nup/nup_h/nup_ns/nup_v/nup_vm

* 色に関する辞書

rgb/cmyk

(例) code39、code39a、ean128b、jisucc、jisucct、nup を使用する場合。
code39a、ean128b、jisucct、nup のみが有効となります。

■フォント辞書

* PS フォントの文字セットに関する辞書

fns_83pv/fns_90ms/fns_90pv/fns_add/fns_ext

* マーク変数に関する辞書

vmark/vmark_fh

(例) fns_83pv、fns_90pv、fns_ext、vmark_fh を使用する場合。
fns_ext、vmark_fh のみが有効となります。